



時 栃 報 幼

題字／栃木県知事 福田富一氏

第 109 号

平成24年6月20日

(社)栃木県幼稚園連合会

〒320-0033 宇都宮市本町12-11 栃木会館2階

☎028(622)2821 FAX 028(622)2816

●編集人／馬場章信 ●発行人／石嶋 勇

■栃幼連ホームページ <http://www.youchien.or.jp>



理事長挨拶

理事長就任にあたり

栃幼連理事長 石嶋 勇



私は、この度の社団法人栃木県幼稚園連合会五月通常総会において理事長に選任されました。

「小心翼々」者ですから「この大役が無事務まるのか？」不安な気持ちは拭えませんが、一生懸命務めさせていただきますので、皆様のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

石嶋昇前理事長の下で七年間副理事長として多くの事を学ばせていただきました。

七年間一緒に仕事をさせていただき昇先生の一挙手一投足を身近で拝見させていただきました。すべての事に対し全力で行動し手抜きなしの行動力に驚きました。

目配り、気配りのきく、やさしい大きな方だと感じております。

「とちぎ未来開拓プログラム」が平成二十一年度に当局から発表になりました。

これでは「幼稚園経営が大きな打撃を受ける幼児教育の危機だ」と判断。持ち前の行動力で署名運動を展開、その総責任者として県内全域から三十四万人の名簿を集めることが出来ました。

また、全日私幼関東地区会の会長も務められてその功績は顕著であります。

永年のご労苦に感謝すると共に心からお礼を申し上げます。

さて、新体制で平成二十四年度がスタートいたしました。「栃幼連」と「栃私幼振興連盟」が連携強化し「幼児教育の充実」「経営基盤の安定」の両面において活動を活発に推進して参ります。

特に経営基盤の安定こそが質の高い幼児教育を担保できるものと考えます。

その為の今後の取り組みとし……。「子どもの利益が最大限に尊重されること」「就労家庭ばかりではなくすべての子どもと子育て家庭への支援で

あること」「幼稚園機能が最大限に発揮できること」「耐震化など防災環境整備」「子どもたちや教職員が安全安心に活動出来る空間」の創出など実現出来ますように引き続き取り組んで参ります。

一方、国の施策に目を向けますと「社会保障と税制の一体改革」関連法案が国会に提出。審議が開始されました。私たちの最大の関心事は、「子育て法案」であり「総合こども園」が「創設されるのか」であります。

六月二十一日の会期末まで注視して情報収集して参ります。

結びに私たち幼児教育に携わる者に課せられた使命の大きさと責任の重さを自覚し、更なる会員同士の一致協力と行政当局との連携を図り「幼児教育の質の向上」「経営基盤の安定」の両立を目指して最善の努力をして参りますので皆様のご支援ご協力を重ねてお願い申し上げます。

文書学事課長就任にあたって

文書学事課長 永井 茂明



本年四月に文書学事課長に就任いたしました永井です。よろしくお願いたします。

社団法人栃木県幼稚園連合会及び会員の皆様には、日頃から幼児教育行政や県政の推進に對しまして、格別の御理解と御協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、本県では、昨年从今年にか

けて大震災や竜巻など大きな災害に見舞われております。各幼稚園におかれましては、園児の安全確保に細心の注意を払っていただくなど、引き続き万全の対策をお願いいたします。

御案内のとおり、近年の子どもたちを取り巻く環境は、急速な少子高齢化や核家族化、共働き世帯の増加など、大きな転換期にあります。そうした社会の大きな変化に対応し、豊かさを実感できる社会を実現するためには、未来を担う子どもたちを社会全体で守り、育てていくことが重要です。特に幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を築く時期であり、幼稚園教育の果たす役割は大きなものがございます。

また、幼稚園は、幼児に対する教育の他にも、施設の開放や保護者の交流、子育てに係る情報提供や相談を行うなど、社会全体での子育てを推進していく中核的役割を果たしていることから、今後、従来にも増して県民からの期待が大きくなるものと思われま

一方、国においては、子ども・子育て新システム関連三法案が国会で審議されています。この新システムは、幼稚園経営に大きな影響がござい

最後になりますが、県といたしましては、幼稚園が果たす社会的役割を十分認識し、次代を担う子どもたちが明るく元気に、そして心豊かに成長できるように、皆様方の御理解と御協力をいただきながら、引き続き幼児教育や子育て支援の充実に取り組みで参ります。皆様のさらなる御理解と御協力を重ねてお願いいたします。

平成
23
年度
三月総会

平成二十三年年度の三月総会が、去る三月二十七日（火）午後三時より二荒山会館の鶴の間にて開催された。



総会は宇南山照元氏の司会進行により、定刻に石嶋勇副理事長より開会の言葉が始まった。石嶋昇理事長からは昨年三月十一日の東日本大震災以降、県内においても被災をされた園では大変ご苦労があった一年だった事、連合会の事業執行についてはおおむね遂行できた事のお礼の言葉があった。また本総会の議案である二十三年度事業計画（案）ならびに収支予算（案）の慎重審議を願う挨拶の後、次のように進められた。

〔議長選出〕

小堀 泉氏（氏家幼稚園）

〔資格審査〕

（一九七園中）出席園 七三園
委任状出席 九八園

〔議事録署名人〕

佐藤司郎氏（野ばら幼稚園）
星 收氏（きぬ川幼稚園）

〔記録人選出〕

事務局の河合智美氏を選出して議事に入った。



まず石嶋理事長より、平成二十四年度事業計画（案）について説明がなされた

〔第一号議案 平成二十四年度事業計画（案）並びに収支予算（案）〕

後、各委員会から事業計画（案）の内容について具体的な説明があった。続いて平野総務委員長から平成二十四年度の収支予算（案）について説明があった後、原案通り可決承認された。議事終了後、中川副理事長の閉会の言葉で終了した。

総会後、栃木

県私立幼稚園退職金財団伊藤理事長より掛金変更の説明、栃木県私立幼稚園振興会金子理事長からも同会の説明があった。



平成
24
年度
五月総会

平成二十四年度五月総会が、去る五月十六日（水）宇都宮市・コンセーレにて開催された。



総会は来賓として県議会副議長の五月女祐久彦様、永井茂明文書学事課長様、同主任藤巻亮様、大塚千枝子幼児教育センター長様、同指導主事前原由紀様のご臨席をたまわり、宇南山照元氏の司会進行により午後二時定刻に開始された。

冒頭の石嶋勇副理事長による開会のことばに始まり、石嶋昇理事長の挨拶に続き、来賓を代表して五月女祐久彦様、永井茂明様よりご祝辞を賜った。

〔議長選出〕

黒田光泰氏（第二ひかり幼）

〔資格審査〕

（一九七園中）出席園 一〇五園
委任状出席 七八園

〔議事録署名人〕

前田 和子氏（友愛）
大久保信男氏（やすづか）

〔記録人〕

河合智美氏
以上の手続きを経て議事の審議に入った。

〔第一号議案 平成二十三年事業報告並びに収支決算の承認について〕



まず石嶋理事長から総括的事業報告が述べられ、次に各委員長から委員会の事業報告が行われ、慎重審議の結果原案どおり可決承認された。

〔第二号議案 新法人への移行について〕

総会資料に基づき、栃幼連事務局長池田氏による経緯の説明がなされ、栃木県幼稚園連合会の社団法人から一般社団（財団）法人への移行とそれに伴う定款の変更について、慎重審議の結果可決承認された。



〔第三号議案 役員改選について〕

今回は役員改選期に当たするため、栃幼連定款並びに細則に則り役員改選の審議を行い、理事及び監事が原案どおり選任され、そののち理事の互選による新しい正副理事長、常任理事が紹介され、満場一致で承認された。

議事の終了を受け、中川副理事長の言葉をもちて閉会した。

総会終了後、九年の長きに渡り重責を務められた前理事長への感謝の意を表し花束贈呈が行われ、改めての石嶋昇前理事長退任挨拶に満場の拍手が送られた。



法人 栃木県幼稚園連合会
24年度 5月通常総会

副理事長挨拶

栃幼連副理事長 石川 均



正副理事長推薦委員会からの電話。四年間、連合会からは遠ざかり、執行部のご労苦に感謝するばかりだった私に再び声がかかるとは。

まずは、石嶋昇理事長に「お疲れ様」と長年の労をねぎらいたい。職責を果たす責任感と行動力には敬意を表する。これからも全日本私立幼稚園幼児教育研究機構で活躍されるとのこと、一緒に仕事が出来ることが楽しみにしている。新理事長の石嶋勇先生は信念を持った包容力のある方だ。私が少しでも協力出来たらと思い副理事長を受けた。幼稚園が置かれている現在の状況は非常に混沌としている。まさに、政治、行政に翻弄されている感がある。連合会としてこれから進む幼稚園の行方を整理し、情報を発信していくことが使命になるだろう。経営と教育の両輪の質を高め、幼稚園の歴史と伝統を守りながら、社会構造の変化に対応できる智慧と勇気を共有したい。私は連合会の縁の下で力持ちとして、微力だが職責を果たして行こうと思う。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

栃幼連副理事長 中川 祐慈



九年間、栃幼連の先頭に立ちその重責を果たされたきた石嶋昇理事長が退かれました。

支えてきた者の実感として、連合会の舵取りや行政対応、その他さまざまな難題に誠実に対応される姿勢に感銘を受けたものでした。たいへんお疲れさまでした。今後とも、その深い見識からご指導を仰ぎたいと存じます。そして今回、五月総会の役員改選でその後任として新たに石嶋勇新理事長が就任されました。先生はバランス感覚などに精通されており、昨年の震災以来、幼稚園を取り巻く環境はさらに厳しさを増しています。今般、補佐役として再度副理事長の大役を仰せつかった身といたしまして、当面する懸案や諸課題への対応に全力を挙げて理事長を支えていく所存であります。特に、幼保一体化関連施策の動向も含め、県内においての幼稚園関係予算の削減など幼児教育の在り方について影響を及ぼす問題については私たちの立場におきましても広く県民に中身を説明し、コンセンサスを取得していくことも必要であると考えます。それぞれの地域に根差し培った教育力や子育て支援の役割を担う幼稚園は地域にとっても貴重であり公益性の高い財産です。それらの一園一園をつなぎ教育環

境を守り、さらに向上させていくことが連合会の役目と考えております。一生懸命頑張る所存でありますので、ご指導をよろしくお願いいたします。

栃幼連副理事長 船田 弘和



この度、不肖若輩者の私が、副理事長という大役を仰せつかることになりました。

時の理事長の創造する栃幼連の進むべき道と、その歩みを実現するための支えとして、歴代の副理事長は、ごく自然にその務めを果たされておられ、その姿をいつも遠くで見つめていた自分が、突然に推挙され、断るすべを失い、その職に就くことについて誰より戸惑いを感じております。しかしながら、「若い人材を選出するには、完全を求めるのではなく、相応に汗をかき、戸惑いながらも努力する姿に、何かを動かす活力が生まれてくるものだ」という趣旨の言葉がある先生に戴いた時、私のような者でも精進すれば、何かの役に立てるかもしれないと感じお引き受けした次第です。石嶋勇理事長の思いを理解し、石川・中川両副理事長を手本に研鑽させていただくことで、課せられた役割を果たそうと考えております。私が活動を共にする委員会は、教育研究委員会（山荷委員長）、

各委員長挨拶

総務委員長 平野 章雄



引き続き委員長を仰せつかり、微力ながら任に当たりたいと覚悟を決めたところです。

我々を取り巻く環境は、とちぎ未来開拓プログラムや連合会の一般社団法人化、総合こども園の動きなど諸問題を多く抱えておりますが、それらを注視しながら、皆様の英知を結集して進めたいと思えます。総務委員会としては、与えられた条件の中で、最善の努力を発揮して、幼稚園・教職員・園児・連合会・家庭の力をより一層高めたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



振興委員長 宮入 玄英



この度、振興委員長を務めることとなりました。

歴代の委員長の

方々の実績を汚さぬよう努めてまいりたいと思っています。

現状は、厳しい状況にあります。が、委員会の活動をとおして、振興連盟とも協力して、少しでも成果が上がるよう、努めてまいりますので、皆様のご協力と結束をお願いいたします。

教育研究委員長 山荷フサ子



二十一世紀を生きる子どもたちの教育の充実を図るためには、教員の

資質・能力の向上が大切であると思います。今回委員長という重責を仰せつかりましたが、委員の先生方と一緒に知恵を出し合い、可愛い子どもたちの幼稚園生活が安全でより楽しく過ごせるような研修・講座を企画してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

経営研究委員長 荒居 養雄



このたび、経営研究委員長を仰せつかりました。学

法化移行の大変革

の時期からすでに三十年経過しました。そして再び制度が大きく変わろうとしている時期を迎え、教育内容の充実とともに経営基盤確立が急務と考えております。

今年二年、黒田光泰副委員長他所属委員とともに園運営に役立つ研修企画を実施してまいります。皆様のご参加で協力よろしくお願いたします。

広報委員長 馬場 章信



図らずも引き続き広報委員長を務めさせていただくことになりました

た。『栃幼時報』の発行を中心としながら、各種マスコミ、ネットへの広報活動を充実して参ります。

HP委員会では、金子副委員長（HP委員長）を中心に、例年の各園情報の更新に加え、前期からの継続ですが、栃幼連HPリニューアル班と情報通信システムバ

ジョンアップ班の二チームに分かれて取り組んで参ります。

広報委員会・HP委員会の熱い取り組みにご期待ください。

一〇二条園対策委員長 根村 隆宣



引き続き委員長を務めさせて頂くこととなりました。よろしくお願

い申し上げます。

私立幼稚園は、園の成り立ち、運営形態の差はあっても、それぞれの園が教育方針に基づき、特色を生かしながら幼児教育に全力で取り組んでおります。

学校法人への移行の問題は、一〇二条園が理解をしながらも、それぞれの園の事情によって果たせずにいるのが現状です。補助金の格差は、園の運営上重大な問題になっておりますが、現状が改善されることを切に願い、本分である幼児教育に尽力して参ります。

認定こども園対策委員長 中山 昌樹



認定こども園対策委員会では、これまで、基礎自治体である市町との

連携のあり方を模索してきました。制度がどうなるうとも、地域主権の波は変わらず、市や町との協働がますます重要になるからです。このたび、委員長を再び拝命いたしました。引き続き、このテーマを最重要課題と位置付け活動に取り組んでいきたいと存じますので、よろしくお願いたします。

青年部委員長 上野 和彦



私は、この青年部委員会に在籍してからの数年で、大きく成長させて

いただいた実感があります。青年部の年齢だからこそ、学べることがあるはずですし、また二代目・三代目だからこそ、学ぶべきこともあると思います。

この委員会の意味や意義を最大限に活かせるよう、私がこのタイミングで委員長に選出されたことと共に踏まえて、更なる充実を目指し努めていこうと考えています。



平成24・25年度 栃幼連役員・委員会構成

役職名	氏 名	園 名
顧問	小林 龍雄	呑 竜
〃	石川常四郎	アルス
〃	寺尾 球司	太 陽
〃	栗原 信明	国 谷
〃	石嶋 昇	きつれ川

●総務委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	平野 章雄	栗の実	常任理事
副委員長	小瀬 昭一	茂木愛泉	理 事
委 員	國吉真理子	みふみ	〃
〃	大久保信男	やすづか	〃
〃	堀川 照子	鹿沼みどり	〃
〃	中村 京子	かしわ	〃
〃	斎藤 達成	あけぼの	〃
専門委員	大塚 真司	東光寺	
〃	板美 幹代	こばと	
〃	内木 大輔	第二薬師寺	
〃	佐藤 峻介	いずみ	

●振興委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	宮入 玄英	足利ひかり学園	常任理事
副委員長	木嶋 浩史	みゆき	理 事
委 員	荒木 龍胤	せんだん	〃
〃	町田 郁夫	おおひらふじ	〃
〃	吉水 義浩	烏山みどり	〃
〃	福本 光夫	西那須野	〃
専門委員	石原 顕彰	佐野たちばな	
〃	富川 将	間々田	
〃	荻原 庸男	仁神堂	
〃	根村 隆宣	輪王寺附属日光	

●教育研究委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	山荷フサ子	作新学院	常任理事
副委員長	小倉 庸寛	愛泉	理 事
〃	大中 清見	法得	〃
委 員	今井 政範	さくらが丘	〃
〃	前田 和子	友愛	〃
〃	小林 研介	呑竜	〃
専門委員	山崎 英明	釜井台	
〃	加藤みどり	真岡さくら	
〃	井上 智賀	旭	
〃	田名網優子	明星	
〃	斎藤 佳子	しずわでら	
〃	佐藤麻矢子	野ばら	
〃	戸室まち子	晃望台	
〃	大嶋 裕	今市中央	
〃	荻原美奈子	高根沢第二	
〃	栗田 英子	黒羽	

●認定こども園対策委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	中山 昌樹	あかみ	常任理事
副委員長	永田 文子	さくら	
専門委員	岩本 春枝	しらゆり	
〃	田口 幸雄	西方なかよし	

●青年部委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	上野 和彦	にのみや	常任理事
副委員長	遠藤 英昌	花園	
〃	石川健太郎	アルス南	
地区幹事	金子 礎泰	聖	
〃	太田 千晴	中鶴田	
〃	吉羽 俊明	高ノ台	
〃	佐々木桐子	萌丘	

役職名	氏 名 (園 名)	担 当
理事長	石嶋 勇 (すすめ)	
副理事長	石川 均 (アルス)	総務・振興・102条園 委員会担当
〃	中川 祐慈 (清滝寺)	経営研究・広報 委員会担当
〃	船田 弘和 (おおみや)	教育研究・認定こども園・青年部 委員会担当

●経営研究委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	荒居 養雄	育成館	常任理事
副委員長	黒田 光泰	ひかり	理 事
委 員	稲川 康代	平出	〃
〃	宇南山照元	真岡ひかり	〃
〃	山越 忍隆	足利	〃
〃	大豆生田光男	小山西	〃
専門委員	馬場 伸裕	陽南	
〃	佐藤 広志	七井	
〃	黒川 弘照	栃木みどり	
〃	小野瀬泰弘	楠エンゼル	
〃	円山 仁三	長畑	

●102条園対策委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	根村 隆宣	輪王寺附属日光	常任理事
副委員長	中臣 正範	めぐみ	
専門委員	手塚 節子	親和	

●広報委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	馬場 章信	たから	常任理事
副委員長	金子 礎泰	聖	理 事
委 員	岩本眞砂枝	みどり	〃
〃	香川 玲子	鹿沼ひかり	〃
〃	武田 純子	きぬ川	〃
専門委員	篠原真木子	茂木愛泉	
〃	遠藤 英昌	花園	
〃	佐野 延洋	洗心	
〃	栗原 健治	国谷	
〃	伊沢 信恭	静林	
〃	小堀 洋人	氏家	
〃	矢板 真雄	なでしこ	

●ホームページ委員会

職 名	氏 名	園 名	役職名
委員長	金子 礎泰	聖	理 事
委 員	古本 裕一	やしお	
〃	永田 文子	さくら	
〃	上野 和彦	にのみや	
〃	遠藤 英昌	花園	
〃	佐野 延洋	洗心	
専門委員	栗原 健治	国谷	
〃	伊沢 信恭	静林	
〃	香川 玲子	鹿沼ひかり	
〃	大嶋 裕	今市中央	
〃	小堀 洋人	氏家	
〃	矢板 真雄	なでしこ	

職 名	氏 名	園 名	役職名
専門委員	小倉 睦美	むつみ愛泉	
〃	岡本美代子	すみれ	
〃	秋間 修	那須	

職 名	氏 名	園 名	役職名
地区幹事	佐野 延洋	洗心	
〃	市村 直哉	ふじおか	
〃	山中 章弘	小山	
〃	佐藤麻矢子	野ばら	
〃	青柳 貴也	晃望台	
〃	小堀 洋人	氏家	
〃	秋間 英司	黒磯	



幼稚園問題研究会

平成二十四年三月十三日、二荒山会館において、恒例の幼稚園問題研究会が開催された。文書学事課からは小倉敬子副主幹、藤巻亮主任の二名が、栃幼連からは正副理事長、各委員長、各地区会長ら十七名が出席し、活発な協議がなされた。



①平成二十四年度幼稚園関係予算の概要について、②東日本震災における行政の対応について、の二点を中心に、今後の予算の方向性、震災被害への対応、除染対策等について意見が交わされた。

また、平成二十四年一月に文科省から示された「私立学校施設防災機能強化集中支援プラン」や、「安心こども基金」の有効的な活用、会計処理の問題点、特別支援児の診断書取得の問題点等についても話し合われた。



栃木県私立幼稚園振興連盟 平成二十四年度総会

平成二十四年度栃幼連五月総会終了後、栃木県私立幼稚園振興連盟の総会がコンセーレにて開催された。



石嶋勇振興連盟会長より、昨年の震災に関する見舞いや復興への願い、栃木県議会議員選挙での支援等会員各位の協力に対する感謝の意を表する挨拶の後、議長に黒田光泰氏（ひかり幼稚園）を選出後、「資格審査」会員数百七十七名中、出席九十四名、委任状出席七十四名、「議事録署名人」前田和子氏（友愛幼稚園）大久保信男氏（やすづか幼稚園）「記録人選出」河合智美氏（事務局）の手続きを経て議事に入った。



①平成二十三年度事業報告並びに収支決算の承認について②平成二十四年度事業計画（案）並びに収支予算（案）の承認について③自民党栃木県私立幼稚園支部平成二十三年度収支決算並びに平成二十四年度収支予算（案）の承認について④役員改選についての四議案は、すべて原案通り可決承認された。

認められ振興連盟会長及び、自民党県私幼支部長には、石川均氏が就任した。



教員養成機関・栃幼連 懇談会

日時：平成二十四年六月五日（火）
午前十時三十分～
場所：二荒山会館（亀の間）

県内の幼稚園教諭養成機関と栃幼連常任理事との恒例の懇談会が開催され、中川祐慈副理事長の進行のもと、活発な情報交換が行われた。

出席した教員養成機関（順不同）
作新学院女子短期大学部二名、白鷗大学二名、國學院大學栃木短期大学二名、足利短期大学二名、佐野短期大学一名、宇都宮共和大学二名、国際介護福祉専門学校二名、宇都宮ビジネス電子専門学校二名

主な懇談内容

①栃木県幼稚園教諭就職説明会について、②栃木県幼稚園教諭就職説明会の協賛について（お願い）、③教育実習について、④学生の幼稚園就職に関する諸問題について、それぞれ懇談したが、養成機関からの要望事項をまとめる」と下記の通り。

就職説明会には全員に参加するよう指導しているが、例年参加園が少ない地区もあり参加する魅力に欠けるといふ面もある。園によっては遅く始まったり、早く切り上げて帰るところがあるようなので、説明を行う時間を明示してほしい。学生に対して採用条件を明示してほしいし、併せて養成校側にもぜひ求人情報を出してほしい。

就職に関して、以前は幼稚園から養成校にも内定の連絡があったが、最近、内定報告や採用条件について報告をいただけない幼稚園もある。ぜひ報告してほしい。

応募したくても、卒園児だけでなく、教育実習を体験した学生だけといって門前払いの園もあるようだがいかがなものだろうか？

幼稚園側からは、複数園を受験する場合は、あとで複数内定が問題とならないよう、あらかじめ学生から別の園を受験していることを報告するよう指導してほしい。

園で働きながら保育士資格を取得できる方法の提供を要望したが、どの程度ニーズがあるのか、早急

に実態調査を行うこととした。



幼児教育センターだより



新規採用幼稚園教諭研修について

四月五日に第一回新規採用幼稚園教諭研修を実施し、若さみなぎる新規採用教諭二〇七名とともに、幼児教育センター事業もさわやかなスタートを切りました。

開講式では、石嶋勇祐幼連副理事長（当時）、永井茂明文書学事課長、大塚千枝子幼児教育センター長からあいさつがあり、幼稚園教諭となった先生方へのエールが送られました。



「幼稚園教育とは」「幼稚園教諭の心構え」「幼稚園における人権教育」「幼児期の健康管理と安全管理」の講話があり、受講者からは「幼児教育の主体者は幼児であることを確認できた。」「先生になったという自覚をもって、園児からも保護者からも信頼される教師になりたい。」など、希望に満ちあふれた感想が多く寄せられました。

幼児期の教育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることを受講者が受け止め、子どもとのかかわりを深められるよう、職員一同、応援させていただきます。

また、今年度も研修中に避難訓練を実施しました。受講者は、真剣に取り組み、北山勉総合教育センター



次長の講評に熱心に耳を傾けている様子が見られました。大切な園児を守るために、災害に備えて、日頃から、危機管理の意識を高めてほしいと思います。

幼児教育センター事業について

今年度、幼児教育センターでは「幼児期の体づくりと運動遊び」をテーマに掲げ、様々な研修を企画しています。これから夏休みにかけて

- 合同研修（幼・保・小）
- 幼・保・小連携研修
- スキルアップセミナー

などの研修を実施します。

「合同研修（幼・保・小）」では、子どもの体力や運動能力の向上に向けて、幼稚園、保育所、小学校の教職員でグループ協議を行い、それぞれの取組や課題などについての情報交換を行います。「幼・保・小連携研修」では、山梨大学の中村和彦教授より「幼児期から児童期にかけての体づくりと遊び」の意義や方法についての講話があります。また、スキルアップセミナーでは、幼児期の運動遊びはもろろんのこと、食育や音楽表現活動など、実技を通して幼稚園教育要領の内容が学べるプログラムを用意しています。

各研修についての詳細は、幼児教育センターガイドブックをご覧ください。

園内研修を応援します！

センターでは、園内研修等への支援として、保育・教育アドバイザーの派遣を行っています。二つの園の研修を紹介します。



去る三月二十二日、「幼児期の規範意識」「幼児理解と保護者への対応」をテーマに、作新幼稚園、しらゆり幼稚園、みどり幼稚園の合同園内研修が行われました。

幼児教育センター職員の他に、総合教育センター研究調査部の職員二名も同行し、ビデオ視聴を通じた意見交換を行ったりロールプレイングを取り入れたりして、多様な手法で研修を行いました。研修者からは「実際の映像を見たり実演したりしたので、実感が伴う研修だった」「園内研修の手法が広がった」などの感想をいただきました。

また四月二十六日は、さくらが丘幼稚園で「幼児期の表現活動について」幼稚園で大切にしたい音楽とのかかわり」をテーマに園内研修が行われました。幼稚園教育要領に基づいた幼児期における音楽表現について学んだ後、リズムにのって体を動かしながら、様々な指導の方法を

学ぶ実技研修を行いました。各園のニーズや先生方の研修意欲に応えられるよう努めたいと考えていますので、お気軽にご相談ください。

センター職員紹介

今年度は、五名が新メンバーとなり、八名の職員でスタートしました。

- リーダー 影山 晃一
宇都宮市立城東小学校より
- 指導主事 人首 健一
栃木県立豊学校より
- 顧問 神長 美津子
成徳大学教授（兼任）
- 専門員 池田 和代
西が岡保育園より
- 専門員 中里 光江
山王幼稚園長（兼任）



その他、三名の職員については、前年度と変わりません。これまで同様の御理解と御支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

（文責 前原 由紀）



学事だより

県文書学事課

四月の定期異動により、文書学事課に永井課長が、また、幼稚園関係では檜山主査が配属となりました。引き続き私立幼稚園行政の推進に努めてまいりますので、本年度もよろしくお願いいたします。



- 薄井 主事
- 小倉 副主幹
- 篠崎 主査
- 藤巻 主任
- 檜山 主査
- 渡邊 主幹兼
課長補佐（総括）
- 永井 課長
- 村上 課長補佐

学校基礎調査（教職員確認等）のヒアリング実施について

学校基礎調査（第二回・教職員確認等）のヒアリングを次の日程で実施します。

- 日程 七月二日（月）
七月九日（月）

- 場所 板木県庁本館八階大会議室一
・詳細については、別途通知します。

各種届出書類について

- 園則や園地・園舎、理事・監事等の変更を行った場合は、速やかに各届出を提出願います。
- 学校法人の平成二十四年度決算書及び平成二十四年度収支予算書の提出期限は、六月末となっております。
- 平成二十四年度決算に伴う資産総額の変更登記は、五月末までにを行い、登記済届を六月末までに御提出ください。

防災マニュアル等の作成・見直し等について

本県では、昨年から今年にかけて、地震や台風、竜巻など立て続けに災害に見舞われましたが、幸い園児への被害はありませんでした。学校保健安全法では、危険発生時に園児の安全確保を図り、的確な対応が取れるよう、防災マニュアル等の整備を義務づけています。それぞれの幼稚園の実情に応じた防災マニュアル等の作成・見直し、避難訓練の実施などの取組を引き続きお願いいたします。

平成二十四年七月、九月までの事業予定

7月2日	※幼児保小連携研修 板幼PTA総会
7月5日	※スキルアップセミナー
7月13日	※合同研修（幼・保小） 就職説明会
7月15日	保育セオリー講座
7月17日	※10年経験者研修
7月23日	第59回県教研大会
7月25日	バス安全運転講習会
7月26日	新採研（集合研修） 免許状更新講習
7月27日	※特別支援教育研修 全日私幼関東地区教研大会（神奈川）
8月2日	※10年経験者研修
8月6日	新採研（宿泊研修） 資質向上選抜養成講座Ⅷ
8月11日	※特別支援教育研修
8月21日	※パワーアップセミナー
8月23日	※保育教育課程研究セミナー
8月27日	※保育を語る会
8月28日	※スキルアップセミナー
9月1日	※保育者・園長研修会 設置者・園長研修会
9月3日	※トップセミナー
9月6日	※は幼児教育センター事業
9月12日	
9月27日	

慶事

- 平成二十四年度 春の叙勲
旭日小綬章（地方自治）
にしだ幼稚園
理事長 西田 一之 先生
- 平成二十四年度
県各種功労者表彰（県知事表彰）
アルス幼稚園
理事長 石川 均 先生

平成25年度板木県幼稚園教諭就職説明会

平成24年7月15日（日）12時～15時
会場：マロニエラザ大展示場
有意義な説明会となるよう
全園の参加をお願いします。

第59回県教研大会

平成24年7月25日（水）～26日（木）
第1日目 開会式・全体会
第2日目 分科会
会場：板木県総合文化センター 他

「広く、深く、ていねいに保育の質を考える」
～保育現場の視点を大切にする～
研修を進めよう～

編集後記

石嶋勇新理事長のもと、新体制でスタートした平成二十四年度。石嶋昇前理事長の姿勢をお手本として、二期目の広報委員長を努めて参りたいと思います。板幼時報は、研修会等の報告記事を中心に編集されますが、皆様がお持ちの情報を、みんなで共有するための情報発信もその使命であると考えます。どうぞ今まで以上に、園長・設置者皆様からの情報提供、ご意見をお寄せいただきますよう、心よりお願い申し上げます。なお次号から、広報委員が持ち回りで編集後記を執筆いたします。どうぞお楽しみに。（広報委員長 馬場章信）